

# ろう教育大会に1500人

## オンラインで最大規模



県立特別支援学校の大宮ろう学園(桑原智子校長)と坂戸ろう学園(原田篤校長)が企画、運営した全日本ろう教育研究大会埼玉大会がオンラインで開催された。同大会のオンライン開催は初めて。全国のろう学校98校と関係者ら約1500人が参加した過去最大規模の大会となった。

大会の主題は「自ら学びを深め、たくましく生きる力を育む」。主管校の大宮ろう学園と坂戸ろう学園は、聴覚障害がある子どもが社会の中で

困難を乗り越え、ポジティブに生きられるよう「個人」「ろう・難聴」「社会」の三つの視点を取り入れた授業研究成果を発表した。

聴覚障害とその他の障害がある子どもが学ぶ大宮ろう学園の重複部では、自立に向けたコミュニケーション能力を身に付けるため、小学5年生と3年生の児童が2人1組で相談し合いながら算数のゲームに取り組み学習の様子を発表。聴覚障害がある教員がリーダーとして指導に当たって

研究発表や東京学芸大学の浜田豊彦教授による記念講演は、発表者と字幕、手話通訳などを一つの画面に配置して全国の会場に配信された。通訳は、中継役の手話通訳者を介し、手話通訳を第一言語とする通訳者が聴覚障害者にとってより理解しやすい手話に変換する「ろう通訳」が採用された。

大宮ろう学園の桑原校長は「3年前から大会を準備し、コロナ禍により半年前にオンライン開催が決まった」と急な転換だったとしつつ、「大宮と坂戸には合わせて約30人の聴覚障害がある教員がいる。ビデオ通話での打ち合わせはメールや電話での連絡に比べ、誤解を生みにくく、きちんと伝わった」とオンラインの利点を発見したことを明かした。

また、出張費がかかり参加

# 県央



# 県東

人数が絞られる従来の形態に比べて、多くの関係者が参加できたという上で、桑原校長は「参加者から『今後のろう教育の転換点になる画期的な大会だった』と反響があった。ICT教育を進める中で波に乗れたのではないかと振り返った。

(伊藤明日香)

本社 さいたま市北区吉野町2-12-8 213  
 編集局 TEL 048-179-5191 61  
 FAX 048-165-3190 40  
 dokusya@saitama-np.co.jp

広告のご用命 TEL 048-179-5199 32